

工事計画認可申請書の一部補正について

原子力発 第22242号
令和4年 9月 7日

原子力規制委員会 殿

経済産業大臣
西村 康稔 殿

住所 香川県高松市丸の内2番5号
氏名 四国電力株式会社

取締役社長 長井 啓介
社長執行役員

令和4年5月30日付け原子力発 第22107号をもって申請しました
伊方発電所第3号機工事計画認可申請書について別紙のとおり補正します。

本資料のうち、枠囲みの内容は、
商業機密あるいは防護上の観点から
公開できません。

別 紙

目 次

1. 工事計画認可申請書補正項目を記載した書類
2. 補正を必要とする理由を記載した書類
3. 工事計画認可申請書補正前後比較表
4. 工事計画認可申請書補正内容を反映した書類

1. 工事計画認可申請書補正項目を記載した書類

補正項目

補正項目及び補正箇所は下表のとおり。

補正項目	補正箇所
I. 工事計画書 2 原子炉冷却系統設備 2. 7 非常用炉心冷却設備	「3. 工事計画認可申請書補正前後比較表」による。
II. 工事工程表	「3. 工事計画認可申請書補正前後比較表」による。
IV. 核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第四十三条の三の九第一項の認可申請をした年月日を記載した書類	「3. 工事計画認可申請書補正前後比較表」による。

2. 補正を必要とする理由を記載した書類

補正を必要とする理由

令和4年5月30日付け原子力発第22107号にて申請した工事計画認可申請書について、核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第43条の3の9第1項の認可の申請を一部補正する必要が生じたため、本工事計画についても一部記載を見直す。

3. 工事計画認可申請書補正前後比較表

伊方発電所第3号機 工事計画認可申請書の一部補正 補正前後比較表

【1. 工事計画書 2 原子炉冷却系統設備 2. 7 非常用炉心冷却設備】

変更前		変更後		備考
<p>(1) 原子炉設備 2 原子炉冷却系統設備 加圧水型原子炉発電設備に係るものについては、次の事項 2. 7 非常用炉心冷却設備に係る次の事項 (6) 主要寸法の名称、種類、最高使用温度、主要寸法、材料、駆動方法、構造及び取付箇所</p>				
名	種	変更前	変更後	
		3F-SI-073A,B		
種	種	遮止め音		変更なし
最高使用圧力	MPa	17.16		
最高使用温度	℃	313		
主要寸法				
呼び径	mm	20		同左
管径	mm			
管小径	mm			
管厚	mm			
材料	種	SUS316		
材料	種	SUS316		同左
駆動方法		—		
数量	数	2		変更なし
<p>(1) 原子炉設備 2 原子炉冷却系統設備 加圧水型原子炉発電設備に係るものについては、次の事項 2. 7 非常用炉心冷却設備に係る次の事項 (6) 主要寸法の名称、種類、最高使用温度、主要寸法、材料、駆動方法、構造及び取付箇所</p>				
名	種	変更前	変更後	
		3F-SI-073A,B		
種	種	遮止め音		変更なし
最高使用圧力	MPa	17.16		
最高使用温度	℃	313		
主要寸法				
呼び径	mm	20		同左
管径	mm			
管小径	mm			
管厚	mm			
材料	種	SUS316		
材料	種	SUS316		同左
駆動方法		—		
数量	数	2		変更なし
<p>記載の適正化 (変更前の弁ふた主要寸法箇所変更)</p>				

伊方発電所第3号機 工事計画認可申請書の一部補正 補正前後比較表

【IV. 核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第四十三条の三の九第一項の認可申請をした年月日を記載した書類】

変 更 前	変 更 後	備 考
<p>核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第四十三条の三の九第一項の認可申請をした年月日</p> <p>令和4年5月30日 (設計及び工事計画認可申請書番号：原子力発 第22106号)</p> <div style="border: 1px solid black; width: 200px; height: 15px; margin-left: 135px;"></div>	<p>核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第四十三条の三の九第一項の認可申請をした年月日</p> <p>令和4年5月30日 (設計及び工事計画認可申請書番号：原子力発 第22106号)</p> <p><u>以下、設計及び工事計画認可申請書の一部補正を行った年月日は以下の通り。</u> <u>令和4年9月7日</u> <u>(設計及び工事計画認可申請書番号：原子力発 第22241号)</u></p>	<p>記載の適正化</p>

4. 工事計画認可申請書補正内容を反映した書類

(一) 原子力設備

2 原子炉冷却系統設備

加圧水型原子力発電設備に係るものについては、次の事項

2. 7 非常用炉心冷却設備に係る次の事項

(6) 主要弁の名称、種類、最高使用圧力、最高使用温度、主要寸法、材料、駆動方法、個数及び取付箇所

		変 更 前 ^(注1)		変 更 後	
名 称		3V-SI-075A, B		変更なし	
種 類	—	逆止め弁			
最 高 使 用 圧 力	MPa	17.16			
最 高 使 用 温 度	℃	343			
主 要 寸 法	呼 び 径	—	2B		同左
	弁 箱 厚 さ	mm	<input type="text"/>		<input type="text"/>
	弁 ふ た 厚 さ	mm	<input type="text"/>		同左
材 料	弁 箱	—	SUSF316		同左
	弁 ふ た	—	SUSF316		
駆 動 方 法		—		変更なし	
個 数	—	2			

第1表 工事工程表

年 月 項 目	令和4年					令和5年				
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	
原子炉冷却系統設備						—				
		□							□	◎

—：現地工事の期間

□：構造、強度又は漏えいに係る試験をすることができている状態になった時

◎：工事の計画に係る全ての工事が完了した時

核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第四十三条の三の
九第一項の認可申請をした年月日

令和4年5月30日

(設計及び工事計画認可申請書番号：原子力発 第22106号)

以下、設計及び工事計画認可申請書の一部補正を行った年月日は以下の通り。

令和4年9月7日

(設計及び工事計画認可申請書番号：原子力発 第22241号)